

平成29年度

定時総会を開催

5月23日(火)、東京・港区の明治記念館で平成29年度定時総会を開催した。総会では、平成28年度事業報告並びに同決算報告、平成29年度事業計画並びに同収支予算が承認されるとともに、議事終了後、優良技術者表彰式(P.6)を執り行った。

平成28年度 事業報告並びに同決算報告について

—平成28年度 事業報告—

■はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、平成28年度事業が計画どおり遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

設立20周年にあたり、記念事業として、明治記念館において記念式典・記念講演・記念パーティーを実施し、黒部ダム見学会、さらには一般の方に土木について理解を深めていただくため、土木を紹介するパンフレット「知っていますか？土木のこと。技術者のこと。」を発行、「土木のある風景」をテーマとした写真コンテスト、「黒部の太陽」上映会など様々な事業を実施し、大勢の方々にご参加いただくことができました。

また、講習会・研修会事業では、技士会単独の講習会を10回開催、加えて、(一社)東京建設業協会等との共催で、若年技術者に重点を置いた研修会を11回開催いたしました。新たな講習会としては、1級土木施工管理技術実地検定試験の受験準備講習会を開催いたしました。

更に、初めての試みといたしまして、学生の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、一般向けの土木施設見学会として工事現場を見学した後、女性技術者と建設系女子大学生との座談会を開催し、「女性が活躍する建設業の未来」について語っていただきました。

また、昨年を引き続き、優秀な技術者の確保を支援するため、合同企業説明会「みんなの建設業☆就職フェスタ」を東京建設業協会と共催いたしました。

土木工事現場の視察としては、会員会社が施工する工事現場2ヶ所を見学、異業種他分野等施設視察としては、庭園の魅力についての講演会と日本庭園視察を実施するなど、土木技術者の技術力向上の支援に努めました。

このほか、機関誌「DOBOKU技士会 東京」を発行いたしました。

■事業報告

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会の実施

講習会・研修会を全21回開催した。うち、技士会単独開催を10回、(一社)東京建設業協会等との共催を11回開催。また、今年度新たに、1級土木施工管理技術検定学科試験受験準備講習会に加え、実地試験受験準備講習会を実施した。

- ①若年技術者のための支援・新入社員研修会〔共催〕
4月4日～5日
- ・若手技術者のためのコミュニケーション能力強化研修会〔共催〕
7月12日
- ・新入社員半年フォロー研修会〔共催〕
10月13日、10月26日、11月16日

- ・若手社員（3年次～5年次）フォロー研修会〔共催〕
10月20日

②1級土木施工管理技士資格取得のための支援

- ・学科試験直前受験準備講習会 6月2日～3日
- ・実地試験直前受験準備講習会〔共催〕
9月8日～9日、9月10日～11日
- ・学科試験合格者に実地試験問題集を配付（会員かつ講習会受講者対象）
9月下旬

③基礎的な技能習得のための支援

- ・建設業法等講習会 4月21日
- ・安全管理講習会 4月27日
- ・仮設構造物（土留め工）の設計講習会 5月18日
- ・コンクリート施工技術講習会〔共催〕 8月26日
- ・環境管理講習会 9月28日
- ・公共工事積算実務講習会 1月24日

④総合的な技能習得のための支援

- ・現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 4月11日
- ・現場管理スキルアップ講習会 5月12日
- ・現場マネジメント能力実践講習会 6月20日
- ・総合評価に関する講習会 2月16日
- ・CSRと現場のリスク管理講習会 3月3日

⑤経営者のための支援

- ・建設業の取引適正化に関する講習会〔共催〕
11月18日

(2) 土木工事現場の視察

土木技術者の技術力向上を図るため、会員会社の協力を得て、土木工事現場の見学会を2回開催した。

- ・横浜環状南線栄IC・JCT下部工事 8月4日
- ・相鉄東急直通線新横浜駅地下鉄交差点土木工事
2月22日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- ・「大磯城山公園 旧吉田茂邸庭園」見学会／「日本庭園の魅力～庭の見方・楽しみ方～」講演会
10月4日

2. 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR

若年者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう合同企業説明会を東京建設業協会と共催した。

- ・「みんなの建設業☆就職フェスタ」開催〔共催〕
3月13日

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

- ・「女性が活躍している工事現場」見学会／「建設業に携わる女性たち」座談会（東京港臨港道路南北線中防内側陸上トンネル整備工事）
11月29日

- ・わくわく・すいすい「水辺探検」への協力
10月1日、10月30日

- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行
機関誌「DOBOKU技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。
- ・第65号（平成28年4月）
 - ・第66号（平成28年7月）
 - ・第67号（平成28年10月）
 - ・第68号（平成29年1月）
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供
講習会・見学会の開催案内をはじめ、メールとホームページを活用して情報を提供し、利便性の向上を努めた。

3. 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入先調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
会員から推薦された優良技術者122名を表彰した。
- (2) 各種表彰候補者の推薦
優良技術者の中から5名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

5. 設立20周年記念事業の実施

- (1) 一般向けに土木を紹介するパンフレット「知っていますか？土木のこと。技術者のこと。」の発行 6月
- (2) 設立20周年記念式典、記念講演会、記念パーティー 7月29日
- (3) 黒部ダム見学会（役員・委員限定） 8月16日～17日
- (4) 黒部ダム見学会（会員限定） 9月8日～9月9日
- (5) 大磯城山公園・旧吉田茂邸庭園見学会／講演会 10月4日
- (6) 「土木のある風景」写真コンテスト（作品展示会・表彰式・「黒部の太陽」上映会） 12月4日

6. 連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、（一社）東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

7. 会議

(1) 総会

定時総会 5月25日

議決事項

- ① 平成27年度事業報告並びに同収支決算に関する件
- ② 平成28年度事業計画（案）並びに同収支予算（案）に関する件
- ③ 役員任期満了に伴う選任に関する件
優良技術者表彰 122名

(2) 理事会

第1回（書面表決） 5月13日

- ① 熊本地震による災害見舞金の拠出に関する件

第2回 5月24日

- ① 平成27年度事業報告並びに同収支決算に関する件
- ② 任期満了に伴う役員候補者の選出に関する件

第3回 3月23日

- ① 平成29年度 事業計画（案）に関する件
- ② 平成29年度 収支予算（案）に関する件

(3) 監事会 4月13日

- ① 平成27年度事業並びに決算について監査

8. 委員会

(1) 総務委員会

第1回 12月14日

- ① 平成28年度 会員の異動状況と収入状況について
- ② 平成28年度 事業の実施状況と今後の予定について

第2回 3月15日

- ① 平成29年度事業計画（案）について
- ② 平成29年度収支予算（案）について
- ③ 今後の予定について

(2) 事業運営委員会

第1回 12月12日

- ① 平成28年度事業の実施状況について
- ② 設立20周年事業の報告について
- ③ 今後の事業予定について
- ④ 優良技術者表彰の実施について
- ⑤ みんなの建設業☆就職フェスタについて

第2回 3月9日

- ① 平成29年度事業計画（案）について
- ② 平成29年度優良技術者表彰について
 - ・講習会グループ会議 11月17日、2月17日
平成28年度講習会事業の実施状況、平成29年度講習会事業などを協議するため開催した。
 - ・現場視察グループ会議 4月14日、12月6日
平成28年度現場見学会候補地選定をするため開催した。
 - ・情報・広報グループ会議 6月23日、11月24日、2月21日
機関誌「DOBOKU技士会 東京」、合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会及び一般向け施設見学会候補地などを協議するため開催した。

(3) 設立20周年記念事業実行委員会

第4回 6月23日

- ① 「知っていますか？土木のこと。技術者のこと。」パンフレット制作の報告について
- ② 記念式典について
- ③ 写真展について
- ④ 黒部ダム見学会について

第5回 10月24日

- ① 記念事業実施報告並びに実施予定について
- ② 「土木のある風景」写真コンテスト入賞作品の選考について

第6回 3月29日

- ① 設立20周年記念事業実施報告並びに総括について

—— 平成28年度 収支計算書 ——

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	予算額	決算額	差異
会費収入	33,900,000	33,484,460	415,540
入会金収入	200,000	20,000	180,000
事業収入	4,000,000	3,545,000	455,000
記念事業基金取崩収入	8,000,000	8,000,000	0
雑収入	100,000	134,186	△ 34,186
当期収入合計(A)	46,200,000	45,183,646	1,016,354
前期繰越収支差額	15,420,000	15,255,540	164,460
収入合計(B)	61,620,000	60,439,186	1,180,814

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	予算額	決算額	差異
事業費	39,750,000	41,376,456	△ 1,626,456
管理費	9,060,000	8,917,199	142,801
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	3,000,000	0	0
当期支出合計(C)	52,810,000	51,293,655	1,516,345
当期収支差額(A)-(C)	△ 6,610,000	6,110,009	△ 499,991
次期繰越収支差額(B)-(C)	8,810,000	9,145,531	△ 335,531

平成29年度 事業計画並びに同収支予算について

—— 平成29年度 事業計画 ——

■ 基本方針

昨年は、多くの皆様のご支援により、設立20周年を迎えることができました。これまでの技士会の歴史に鑑みつつ、更なる発展を目指して、今年度は新たなスタートの年としたいと思います。

現在、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて社会インフラの整備や都市の再開発が進められており、首都高晴海線、東京港トンネルをはじめ、江東幹線や連続立体交差事業等の工事が進められております。

このような中、毎年のように激甚化する自然災害が全国各地で発生しており、国土の強靱化が急がれるところです。

人々が安心安全で快適に暮らすためのインフラ整備ならびに自然災害への減災・防災を担っている建設業ですが、とりわけ土木技術者が担う責任と期待は大きく、我々はこれに応えていかなければなりません。

しかしながら、高齢化が進む一方、若年者の建設業離れから、人材の確保・育成・定着が喫緊の課題となっております。

当会では、夢の持てる建設業、魅力ある建設業を目指し、優秀な技術者の確保を支援するため、引き続き合同企業説明会「みんなの建設業☆就職フェスタ」を開催するほか、若手技術者の育成や会員の技術力向上のための各種技術講習や現場見学会等をはじめ、資格取得を支援するため「1級土木施工管理技士受験準備講習会(学科・実地)」に加え、「2級土木施工管理技士受験準備講習会(学科・実地)」を開催いたします。

このほか、広く一般の方々に土木について理解を深めていただく活動に努めるとともに、会員の増強につながる事業を推進してまいります。

■ 事業計画

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会の実施

- ① 若年技術者のための支援〔共催〕 7回程度
- ② 土木施工管理技士資格取得のための支援〔共催〕 7回程度
- ③ 基礎的な技能習得のための支援 6回程度

- ④ 総合的な技能習得のための支援 3回程度
- ⑤ 経営者のための支援〔共催〕 1回程度

- (2) 土木工事現場の視察 3回程度
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 1回程度

2. 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行(年4回)
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

3. 調査研究

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

5. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

6. 会議

- (1) 総会
 - ① 定時総会
 - ② 臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

7. 委員会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会
 - ① 講習会グループ会議
 - ② 現場視察グループ会議
 - ③ 情報・広報グループ会議

— 平成29年度 収支予算書 —

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	29年度 予算額	28年度 予算額	増 減
会 費 収 入	34,100,000	33,900,000	200,000
入 会 金 収 入	200,000	200,000	0
事 業 収 入	4,200,000	4,000,000	200,000
記念事業基金取崩収入	0	8,000,000	△ 8,000,000
雑 収 入	300,000	100,000	200,000
当期収入合計(A)	38,800,000	46,200,000	△ 7,400,000
前期繰越収支差額	9,320,000	15,420,000	△ 6,100,000
収 入 合 計(B)	48,120,000	61,620,000	△13,500,000

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	29年度 予算額	28年度 予算額	増 減
事 業 費	29,050,000	39,750,000	△10,700,000
管 理 費	9,060,000	9,060,000	0
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予 備 費	3,000,000	3,000,000	0
当期支出合計(C)	43,110,000	52,810,000	△ 9,700,000
当期収支差額(A) - (C)	△ 4,310,000	△ 6,610,000	
次期繰越収支差額(B) - (C)	5,010,000	8,810,000	△ 3,800,000

平成29年度

優良技術者表彰

総会の席上、技術者表彰規程に基づき優良技術者表彰の表彰式を執り行った。平成29年度は次の通り95名を表彰した。
受賞者の皆様に対し、心よりお祝い申し上げます。



代表して表彰を受ける愛川 智氏(飛鳥建設株式会社)

【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】(84名)

国・地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となるとして推薦のあった者

(氏名50音順・敬称略)

氏 名	会 社 名	工 事 名
愛 川 智	飛鳥建設株式会社	みやぎ水再生センター雨水ポンプ棟建設その4工事
青 木 亨	前田建設工業株式会社	平成25年度有明南地区共同溝接続管路建設工事
赤 間 保	大林道路株式会社	北品川電線共同溝工事
飯 澤 亜寿沙	大成建設株式会社	白子川地下調節池工事(その7-5)
飯 田 洋之	株式会社ニューテック康和	毛長川護岸整備工事(鷺宮橋下流)(緊急施工)
猪 澤 悠	五洋建設株式会社	鹿島港外港地区航路・泊地(-14m)浚渫工事
石 原 敬久	株式会社フジタ	新宿地下歩道出入口その1工事
伊 藤 仁義	株式会社竹中土木	千葉北部地区牧の原六丁目宅地整備工事
今 村 成昭	株式会社竹中道路	国道357号千葉地区改良舗装(その9)工事
請 川 光幸	常盤工業株式会社	房総導水路緊急改築 油井地区トンネル補修工事
遠 藤 之康	株式会社ビーエス三菱	(改) 上部工補強工事1-3
大信田 秀治	オリエンタル白石株式会社	中央自動車道 甲府管内コンクリート構造物補修工事(平成26年度)
大 島 栄	西松建設株式会社	国道134号擁壁改修工事
大 西 司	常盤工業株式会社	街路築造工事(27-放3自然教育園)

氏名	会社名	工事名
大野 恭	株式会社富士土木	町田市成瀬一丁目11番地先から同市成瀬二丁目20番地先間配水小管布設替及び新設工事
小川 哲矢	五洋建設株式会社	東京港中央防波堤外側地区岸壁 (-16m) 上部等工事
乙部 誠	大林道路株式会社	保木間(2) 電線共同溝工事
鍛冶谷口 勉	五洋建設株式会社	東京港中央防波堤外側地区岸壁 (-16m) 上部等工事
勝浦 義文	古久根建設株式会社	H27浅川平山築堤護岸工事
桂 弘幸	古久根建設株式会社	町田市公共下水道真光寺町、真光寺一丁目污水枝線その2工事
加藤 修	大豊建設株式会社	北区赤羽北一丁目、板橋区小豆沢四丁目付近枝線工事
金崎 伸夫	鹿島建設株式会社	東京外環自動車道国分工事
金子 明浩	日本道路株式会社	H25圏央道桶川インター改良工事
金原 貴	大林道路株式会社	中央自動車道 八王子管内舗装補修工事 (平成26年度)
上山 徹	常盤工業株式会社	墨46号線 (タワービュー通り) 道路景観整備工事 (その3) 及び (その4)
柄澤 正芳	清水建設株式会社	相鉄・東急直通線、新横浜駅他
川北 潤	大成建設株式会社	YK11工区下部・擁壁・土工工事
菊池 智洋	株式会社富士土木	平成25年度有明南地区共同溝接続管路建設工事
菊池 正彦	三井住友建設株式会社	YK43工区 (A・C連結路) 下部・高架橋工事
北島 健司	株木建設株式会社	圏央道鬼怒川橋下部その2工事
衣笠 厚人	前田建設工業株式会社	北多摩二号水再生センター・浅川水再生センター間連絡管その3工事
工藤 守	株式会社熊谷組	田尻地区函渠その5工事
久保 健	株式会社ピーエス三菱	圏央道高須賀第1跨道橋工事
熊澤 輝彦	大林道路株式会社	H26上尾道路川田谷地区改良舗装その1工事
汲田 晶也	三井住建道路株式会社	東品川電線共同溝その3工事
古賀 誠司	前田建設工業株式会社	竹之沢発電所 6号開渠他復旧工事
後藤 弘成	飛鳥建設株式会社	熊の木ポンプ所ほか1か所耐震補強工事
酒井 英正	五洋建設株式会社	南部処理区大岡川右岸雨水幹線下水道整備工事 (その3)
塩浦 智之	成友興業株式会社	路面補修工事 (26南西の9)
嶋田 貢一	オリエンタル白石株式会社	16号新畑沢橋 (上り) 補修工事
島田 寛之	西松建設株式会社	武蔵水路上流部改築工事
嶋本 勝	大日本土木株式会社	萱丸地区B-78街区外整備工事
白石 浩	あおみ建設株式会社	武蔵水路佐間水門工事
鈴木 顕彰	前田建設工業株式会社	東関東水戸線道路事業監理業務26C3
須田 安寛	株式会社フジタ	新宿地下歩道出入口その1工事
芹澤 充	株式会社富士土木	路面補修工事 (27五の8・遮熱性舗装)
大小原 義博	大豊建設株式会社	東大島幹線立坑設置工事
高木 哲郎	前田建設工業株式会社	①今市発電所搬入路復旧工事②箒川発電所護岸改良工事③鬼怒川発電所逆川ダム他復旧工事計3件
高田 英樹	株式会社竹中土木	千葉北部地区牧の原六丁目宅地整備工事
鷹取 寛	戸田建設株式会社	高速横浜環状北西線 (北八朔地区) 街路整備工事 (その1)
鷹野 秀綱	飛鳥建設株式会社	船橋市西浦下水処理場建設工事その12
高橋 康太	古久根建設株式会社	H27浅川平山築堤護岸工事
高橋 秀太郎	戸田建設株式会社	西部第3排水区雨水整備事業 雨水幹線管渠築造工事
高浜 真一	大林道路株式会社	中央自動車道 八王子管内舗装補修工事 (平成26年度)
武田 康	株式会社ピーエス三菱	中央区日本橋掘留町一丁目地先から同区日本橋久松町地先間配水本管 (800mm・500mm) 布設替工事
竹谷 純一	大成建設株式会社	平成25年度10号地その2多目的内質岸壁 (-8.5m) 棧橋整備工事 (その3)
田代 洋三	飛鳥建設株式会社	船橋市西浦下水処理場建設工事その12
塚越 喜高	坂田建設株式会社	隅田川花火大会侵入防止柵設置・撤去工事
中根 啓吉	株式会社富士土木	路面補修工事 (26三の11・遮熱性舗装)
中山 猛	株式会社熊谷組	都市計画道路安浦下浦線擁壁新設工事
沼里 浩	株木建設株式会社	国道6号土浦BP中村陸橋下部補強工事
橋本 晃一	福田道路株式会社	H26上尾道路睦吉地区舗装工事

氏名	会社名	工事名
長谷川 達也	成友興業株式会社	路面補修工事 (26南西の9)
濱田 稔也	大成建設株式会社	渋谷区渋谷二丁目23番地先から同区渋谷三丁目19番地先間配水本管 (600m) 移設工事
濱西 将之	飛鳥建設株式会社	船橋市西浦下水処理場建設工事その12
林 典夫	株木建設株式会社	東京国際空港国際線地区共同溝他築造工事
林 亮介	株式会社フジタ	千葉北部地区平成26年度5駅圏外整備工事
原 修平	日本道路株式会社	首都圏中央連絡自動車道 海老名地区附帯工事
平井 耕三	西松建設株式会社	城山発電所水圧鉄管路管理設備取替工事
平井 盛彦	ショーボンド建設株式会社	第三京浜道路川崎高架橋橋梁補修工事
保坂 光信	オリエンタル白石株式会社	16号新畑沢橋 (上り) 補修工事
星 恵輔	大豊建設株式会社	白子川整備工事 (その132)
堀 昭	戸田建設株式会社	朝霞市泉水一丁目地先から同市宮戸一丁目地内間原水連絡管 (2000mm) 用立坑及びトンネル築造工事
本間 史彦	坂田建設株式会社	草加松原II期2B2土木その他工事
松田 肇	常盤工業株式会社	街路築造工事 (26三-補74)
松元 勝彦	あおみ建設株式会社	南本牧ふ頭第5ブロック廃棄物最終処分場 (仮称) 建設工事 (その39・基礎及び本体工)
南谷 貴彦	成友興業株式会社	道路改修工事 (26北北-廻田)
村松 雄造	五洋建設株式会社	平成27年度神津島港防波堤 (西) 建設工事
森尾 圭介	株式会社フジタ	西八千代北部地区船橋印西線排水工事 他2件
守重 鶴夫	成友興業株式会社	道路改修工事 (26北北-廻田)
茂呂 政之	国土防災技術株式会社	平成27年度道整備交付金梅田小平線 (赤柴緑化工区)
築島 一浩	大豊建設株式会社	平成25年度公共下水道第1工区工事
山崎 浩	株式会社エム・テック	20号八王子市追分交差点改良他 (その2) 工事
山本 弘	飛鳥建設株式会社	印旛沼二期農業 水利事業吉高幹線用水路その1工事

【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】 (9名)

土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し、公的機関から表彰された者

(氏名50音順・敬称略)

氏名	会社名	発明・論文等の名称
佐久間 信夫	清水建設株式会社	土木学会 田中賞 (作品部門) 横浜環状北線トラス橋
佐野 健彦	日本国土開発株式会社	i-Constructionを全面活用した造成工事の実績および精度検証
神保 誠二	清水建設株式会社	荷重増による鉄道シールドトンネルの変状に対する恒久的な対策工事
鈴木 正秋	飛鳥建設株式会社	「首都高速道路中央環状新宿線大橋地区本線接続工事の設計・施工」
高島 秀和	株式会社ピーエス三菱	首都高速1号羽田線PCゲルバー橋の連続化に関する施工報告
中島 典昭	日本国土開発株式会社	回転式破砕混合工法による津波堆積物の分別処理と土砂改良を目的とした適用
西嶋 徹	鹿島建設株式会社	首都高速道路 中央環状新宿線大橋地区本線接続工事の設計・施工
橋本 勇	鹿島建設株式会社	パイプルーフの構築方法 (特許5726600号)、土留工法 (特許5822350号) 論文「鋼製セグメントボックス構造の施工実績」土木学会他
三室 恵史	鹿島建設株式会社	大断面シールドトンネルの分合流部構築技術

【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】 (2名)

土木施工管理技術を活かして災害復旧作業や調査等のボランティア活動に参加し公的機関等から表彰状、感謝状を受けた者、または個人として上記活動に参加した者

(氏名50音順・敬称略)

氏名	会社名	社会奉仕等の名称
戸島 章男	鹿島建設株式会社	人命救助に大きく貢献
峯尾 裕喜	西松建設株式会社	作業現場での異常事態の発生に際し、適切な措置により人命救助

平成29年度

定時総会「会長挨拶」



東京土木施工管理技士会
会長 伊藤 寛治

定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様におかれましては、お忙しい中を多数ご出席頂き誠にありがとうございます。また、日頃当会の事業運営に対し格別のご理解とご協力を賜わり心から感謝申し上げます。

さて、昨年、当会は多くの皆様のご支援により設立20周年を迎えることができました。皆様の温かなお力添えにより「記念事業」も大過なく実行できましたこと、重ねて御礼申し上げます。今年度はこれまで多くの先輩方が築き上げてきた歴史に鑑みつつ、さらなる発展を目指して新たなスタートの年としたいと存じます。

ところで、現在、建設業界では将来を見据え、官民を挙げて「担い手の確保」、「生産性向上」、「女性の活躍」、「働き方改革」等が推進されているところです。当会では、これら業界の喫緊の課題に取り組み、「魅力ある建設業」を目指してまいります。そのため、今年度も、会員の皆様の技

術力向上や資格取得支援する「各種講習会」や「現場見学会」等を実施いたします。また若年技術者の確保を支援する「合同企業説明会」を引き続き開催いたすとともに、広く一般に「土木」について理解を深めて頂けるような「広報事業」にも取り組んでまいります。

今後とも、会員の皆様には当会の事業運営により一層のご支援・ご協力をお願い申し上げる次第です。

本日は、「平成28年度事業報告・決算報告」「平成29年度事業計画・予算(案)」について、ご審議頂きます。また、議事終了後には「優良技術者表彰」を執り行い、「講演会」開催後に、東京建設業協会との共催による「懇親パーティ」を開催いたします。長時間にわたりますが、本日の総会が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ありがとうございました。